



少年の主張



文責 本宮小学校長 佐久間仁

二十三日に本宮市青少年健全育成推進大会が開催されます。この大会は、学校・家庭・地域が一体となって青少年健全育成市民運動の充実を図ることを目的として行われます。大会では、小・中・高校生が日ごろ考えていることを「少年の主張」として発表します。

【少年の主張（本宮小）】

「当り前ではない『命』」

六年 桑原 美咲

みなさんは、ご飯を食べるときに気持ちを込めてあいさつをしていますか。私は給食の時に、あいさつを簡単に済ませている人を見て、気になることがあります。今日は、「命の大切さ」について様様な人に知ってもらいたいと考えています。

そのために、私自身が現状を知

ることが大切だと思いました。そこで考えてみた結果、私たちが生きていられるのは、他の動物などの「命」をもらっているからだと思えました。そして、「いつも何気なく口にしてる食べ物も当たり前にあるわけではない」ということを常日ごろから考えてみることに大切だと思いました。

みなさんが「命」をもらって食べたときにすることは「あいさつ」でしょう。「いただきます」「ごちそうさま」は当たり前のことですが、全員が言っているとは限りません。食事のあいさつを言っていないのかをインターネットで調べてみたところ、「言っている」という人が約六十パーセント、「言っていない」という人が約四十パーセントでした。「言っている」という人の方が多かったものの、「言っていない」という人の差はあまりありません。ということとは、食事のあいさつを言っている人もいれば、同じくらい言っていない人もいるということです。（中略）

「命」をいただいているのだから、それを無だにはいけない。しかし、食事を残してしまう人もいます。私自身も前は、残してしまうことが多くありました。しかし、残してしまうと捨てられてしまいます。捨てるということは、

せっかくももらった「命」を無だにしていることになりませう。私は、残さないために自分に合った量や、好き嫌いをなくすという取組をするようになりました。こんな少しのことでも、みんながやれば無だを大きく減らすことができるのではないのでしょうか。（中略）



※会場はサンライズもとみやで、午前九時開始予定です。入場は無料です。詳しくは、市から配付されたチラシをご覧ください。

生の命の安全教育



養護教諭が中心となり、一〜四年生の『生命の安全教育』を行っています。授業テーマは、一年生

が『たいせつなからだをまもろう』、二年生が『おへそってなんだろう』、三年生が『みんななかよく』、四年生が『大人へ近づくわたし』です。

まず一年生は、大切な体のことを考えました。水着を着る時に隠れる場所は「プライベートゾーン」といって、人に見せたり触らせたりしないこと。他の人のプライベートゾーンも大事にすること。他の人から、必要も無いのに体を触られるなど、嫌な思いをしたら、その場から逃げたり、大人の人に知らせたりすることを学びました。

「みんなも私も大切な宝物」最後に手話も教えてもらいました。ご家庭でも、学校で学んだことを、子どもたちから聞いてもらえたらと思います。



【お知らせ】

○書き初め展の申込みが本日までとなっておりまして。申込み忘れはないでしょうか。申し込んだ人は冬休み中に作品を仕上げ、一月八日（始業式の日）に提出してください。